

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372600730
事業所名	グループホームゆたか

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	毎年恒例のゆたか祭りをはじめ、町内清掃や敬老会への参加、日常的な散歩等で地域密着の役割をもつグループホームとして地域に根付いた活動をしている。ゆたか祭りでは今回初めて地元高校生等のボランティアが参加し、地域の輪を広げている。 来期からグループホームの祭りを法人全体の祭りとして開催し、各地にある事業所でも地域密着を進める予定である。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議は年6回開催され、利用者、家族、行政、地域代表等が参加している。 運営推進会議では、ホームの行事等の報告や地域包括支援センターからの情報提供などがあり、質疑応答も活発である。 歯科衛生士による口腔ケアの講演が開かれている。 会議内で地域住民手作りの和菓子を楽しみながら茶話会を行う時もある。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	地域包括支援センターが運営推進会議に積極的に参加しており、日頃から相談等で協力体制を築いている。 市の消費者センターの出前講座があり、利用者が楽しく参加をした。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族会があり、行事を含め年3回行われている。 事業所が運営等について報告後、家族だけで話し合う場が設けられている。職員のこと、看取りのこと等、様々な意見が出されており、事業所は意見の反映に努めている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。